

富山県立石動高等学校 シラバス

科目名	地理B	単位数	2	学科	普通科	学年	3
使用教科書	『新詳地理B』(帝国書院) 『新詳高等地図』(帝国書院)		副教材等	<ul style="list-style-type: none"> ・『最新地理図表GEO』(第一学習社) ・『サクシード地理』(九州高等学校地理教育研究会) ・『新地理の研究』(九州高等学校地理教育研究会) ・『ウィニングコンパス地理の整理と演習』(東京法令出版) 			
科目の内容と到達目標	現代世界の地理的事象を系統地理的に考察し、現代世界の地理的認識を養うとともに、現代世界の諸地域を、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察し、現代世界の地理的認識、地理的な見方や考え方を培い、国際社会に主体的に生きるための自覚と資質を養う。						
学 習 計 画 等							
学期	月	学 習 内 容	学 習 の ね ら い ・ 目 標			備 考 (学 習 活 動 の 特 記 事 項 ・ 副 教 材 使 用 等)	
1	4	1章 現代世界の地域区分 1節 地誌の考察方法 2節 地域区分のさまざまなスケール	<ul style="list-style-type: none"> ・地域区分とは何かについて、地域概念や地域区分の目的、意義を理解し、有用性に気づく。 ・地域区分のさまざまなスケールについて、大地域と小地域のスケールによる違いを理解し、有用性に気づく。 ・地誌の考察方法について、地誌的に考察する方法として、多様な事象を項目ごとに整理して考察する方法、特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて考察する方法、対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法があることを理解する。 ・東アジアについて、形式的な地域区分に基づき、地形と気候、中国の民族と人口、食生活と農業、工業化と経済発展、中国の動向と日本、朝鮮半島の成り立ち、韓国の産業、隣国との交流という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 ・東南アジアについて、形式的な地域区分に基づき、自然、歴史と文化・民族、農業と変化、ASEANと工業、ASEAN諸国の変化と諸課題という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 ・南アジアについて、形式的な地域区分に基づき、地形と気候、歩みとヒンドゥー教、インドの農業と農村、工業・IT産業という多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・『サクシード地理』と板書を併用し、必要に応じて『最新地理図表GEO』の写真や図表等を活用する。また、適宜地図帳で学習内容の確認を行う。 ・『最新地理図表GEO』のワークノートの白地図の範囲の確認テストを各地域の地誌最初の授業で行う。 ・学期末に『サクシード地理』とノートを回収し、学習状況を点検する。 	
	5	2章 現代世界の諸地域 1節 地域区分とは何か 2節 東アジア 変化に富んだ地形と気候					
	6	3節 東南アジア モンスーンの影響を受ける自然 4節 南アジア 三つに分けられる地形と モンスーンの影響を受ける気候					
	7						
2	9	5節 西アジアと中央アジア 乾燥した大地が広がる 二つの地域の気候と植生 6節 北アフリカとサハラ以南のアフリカ 赤道を軸に南北に対照的な 二つの地域の気候と植生	<ul style="list-style-type: none"> ・西アジアと中央アジアについて、乾燥帯が広がる自然環境に着目した地域区分に基づき、自然、イスラームの生活文化、交易と都市、資源と産業の面において、類似的な性格の二つの地域を比較して考察する。 ・北アフリカとサハラ以南のアフリカについて、中近東文化と中南アフリカ文化という文化に着目した地域区分に基づき、気候と植生、歴史的背景と文化、一次産品への依存、生活の変化と他地域との結びつきの面において、対照的な性格の二つの地域を比較して考察する。 ・ヨーロッパについて、形式的な地域区分に基づき、気候と大地、ヨーロッパの成り立ち、域内の結びつき、農業と共通農業政策、移り変わる工業、これからのヨーロッパという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 ・ロシアについて、亜寒帯が広がる自然環境に着目した地域区分に基づき、歴史と社会の変化、変化した産業、極東ロシアと日本の結びつきという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 ・アンゴロアメリカについて、ゲルマン文化という文化に着目した地域区分に基づき、自然環境、アメリカ合衆国の移民国家としての発展、人口と都市、農業、科学技術と産業、世界のなかのアメリカ合衆国、アメリカ合衆国との結びつきが強いカナダという多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する。 ・ラテンアメリカについて、ローマン文化という文化に着目した地域区分に基づき、自然環境、文化、大土地所有制と農業の変化、工業化と生活の変化という特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。 ・オセアニアについて、形式的な地域区分に基づき、一つの大陸と太平洋の島々、移民の歴史と多文化社会、強まるアジアとの結びつき、アジア諸国に輸出される農畜産物という特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察する。 			<ul style="list-style-type: none"> ・『サクシード地理』と板書を併用し、必要に応じて『最新地理図表GEO』の写真や図表等を活用する。また、適宜地図帳で学習内容の確認を行う。 ・『最新地理図表GEO』のワークノートの白地図の範囲の確認テストを各地域の地誌最初の授業で行う。 ・学期末に『サクシード地理』とノートを回収し、学習状況を点検する。 	
	10	7節 ヨーロッパ 高緯度でも温暖な気候と 安定した大地					
	11	9節 アンゴロアメリカ 南北と東西で異なる自然環境 10節 ラテンアメリカ 南北と標高で異なる自然環境					
	12	11節 オセアニア 一つの大陸と太平洋の島々					
3	1	3章 現代世界と日本	<ul style="list-style-type: none"> ・現代世界における日本の特色について、多面的・多角的に考察し、日本が抱える地理的な諸課題を探究する活動を通して、その解決の方向性や将来の国土のあり方などについて展望する。 			<ul style="list-style-type: none"> 『サクシード地理』と板書を併用し、必要に応じて『最新地理図表GEO』の写真や図表等を活用する。また、適宜地図帳で学習内容の確認を行う。 	
	2						
	3						
提出物・課題等							
<ul style="list-style-type: none"> ・『最新地理図表GEO』のワークノートは、各地域の地誌最初の授業で行う ・『新地理の研究』は考查の範囲となるので、各考查後に提出 ・『ウィニングコンパス地理の整理と演習』は校内模試の範囲となるので、校内模試終了後に提出 ・『サクシード地理』とノートは適宜提出 							
評価方法							
各学期の考查評価・課題への取り組み状況・授業態度などの総合評価							